

フルボ酸抽出の手順

1 フルボスリーを ネットで吊るす

腐植ペレット1.5kgを充填ネットに入れます。



充填ネット
洗濯ネットや
タマネギのネット
などを使用

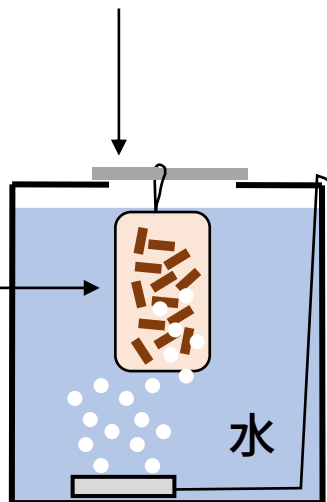
準備が整ったら始めましょう！

準備が整ったら、エアポンプを動かします。フルボスリーペレットからフルボ酸が抽出されはじめ、3日程度でpH4以下になれば、1回目の腐植活性水の完成です。エアポンプを止めてください。もとの水のpHが8-9と高い場合は、できあがりpH5前後になります。

散布に使用する水にフルボ酸抽出液を希釈して使用します。希釈の目安は300~1000倍程度。漕水のpHが高い場合は、濃く使うことで水のpHを調整することができます。希釈した水のpHが適正な範囲内でご使用ください。できるだけ散布する水に毎回使用されることをお奨めします。

フルボスリーは、2回目、3回目と繰り返し作ることができます。次第に抽出量が低下してくるので、4回目になると完成時はpH5程度になります。希釈倍率を変えながら使用してください。

100Lのローリータンクに水を溜める。
充填ネットはタンクの口に固定して吊るす。



エアポンプのホースの先には
エアストーンを取り付ける

100Lタンクの場合

- ①タンクに水を溜め、
充填ネットを入れた
フルボスリーを吊るす
ペレット量の目安
100Lに1.5kg
- ②エアポンプでばっ気する
エア量の目安
100Lに4L/分
- ③最初は3日くらいでpH4以下
になり完成。ポンプを止める。

エアポンプ
(約4L/分) 100L用

2 エアポンプを設置



100Lのタンクの場合
フルボスリー-1.5kg
大型の水槽用エアポンプx2



10Lのポリタンクの場合
フルボスリー-150g
小型の水槽用エアポンプx1



20Lタンクの場合
フルボスリー-300g
エアポンプはそのまま。

pHメーター

できあがり
pHを確認します。
pH4以下できあがり。

最初の水のpHも
確認してください。

